

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2017年7月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	0.7	0.2	△ 0.9	△ 1.5	△ 0.1	0.7
	乗用車新車登録台数	2.9	6.5	5.1	2.4	△ 3.7	△ 10.7
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 4.0	△ 68.8	△ 45.4	△ 22.8	△ 26.5	△ 52.0
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	53.6	36.2	77.2	△ 50.7	40.0	2.5
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 26.4	△ 24.7	△ 2.7	△ 10.7	△ 16.8	△ 19.8
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	1.2	1.0	0.0	1.6	△ 2.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.01	0.05	0.06	0.05	0.02	0.07
	雇用保険受給者実人員	5.0	4.5	1.4	5.3	5.5	2.3

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

(2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2017年7月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	6.9	0.4	△ 11.8	8.0	△ 0.0	26.3
	乗用車新車登録台数	△ 16.5	△ 15.8	38.7	△ 16.6	3.0	△ 12.4
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 48.3	△ 31.7	34.7	14.6	△ 36.2	22.6
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	46.8	△ 23.4	96.2	△ 10.2	△ 21.0	△ 9.2
住宅投資	新設住宅着工戸数	23.9	4.4	9.3	10.3	△ 25.0	7.7
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	1.8	0.5	0.0	△ 1.7	△ 0.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.01	0.00	△ 0.01	0.03	△ 0.03	0.04
	雇用保険受給者実人員	△ 1.1	5.2	△ 8.8	△ 1.7	△ 4.9	△ 6.6

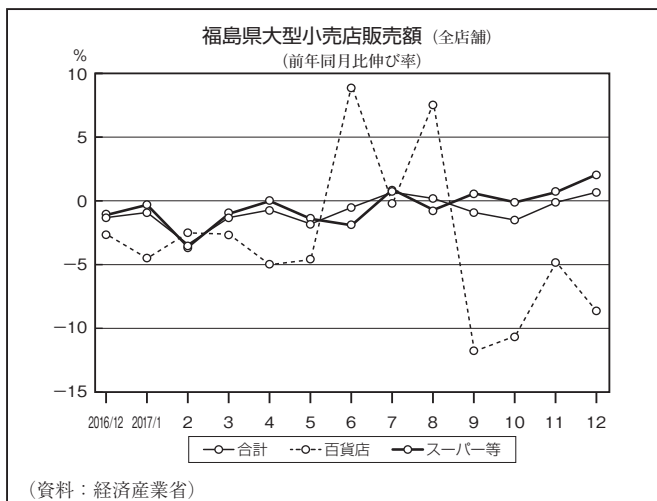
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

3. 県内経済動向

消費動向

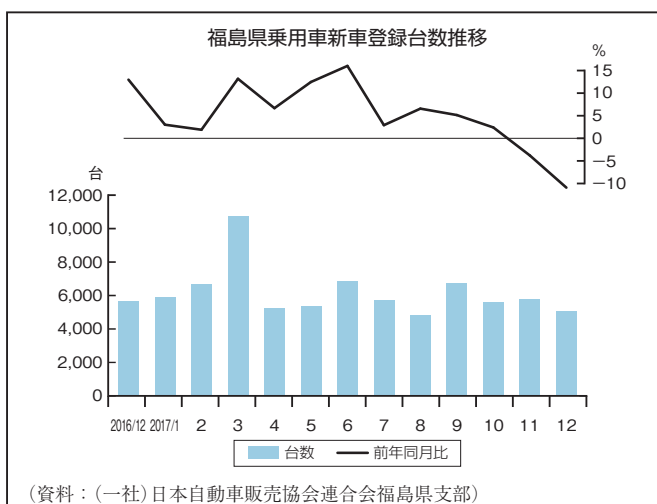
大型小売店：4カ月ぶりに前年比増

12月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で257億87百万円（前年同月比+0.7%）と4カ月ぶりに前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品がともに前年を下回り、合計では同△8.7%となった。一方、スーパーは、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回ったことから、合計では同+2.1%となった。



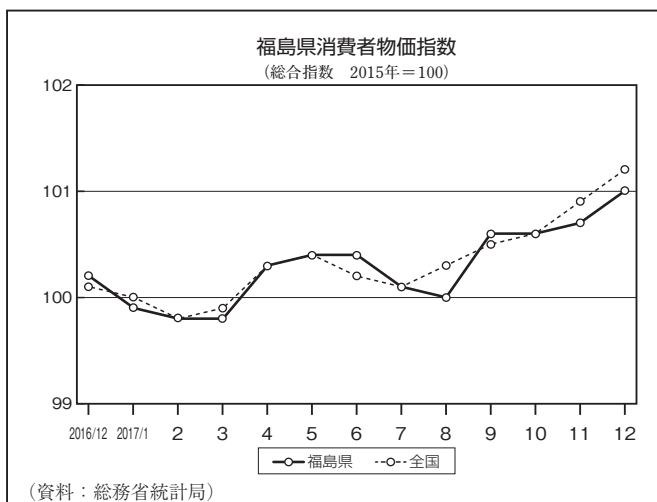
乗用車販売：2カ月連続で前年比減

12月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,031台（前年同月比△10.7%）と、無資格者検査問題が尾を引き、2カ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、普通車が1,718台（同+12.4%）と7カ月ぶりに前年を上回ったものの、小型車が1,573台（同△16.7%）で3カ月連続、軽乗用車が1,740台（同△21.5%）で10カ月ぶりに前年を下回った。



消費者物価指数：前年比・前月比ともに上昇

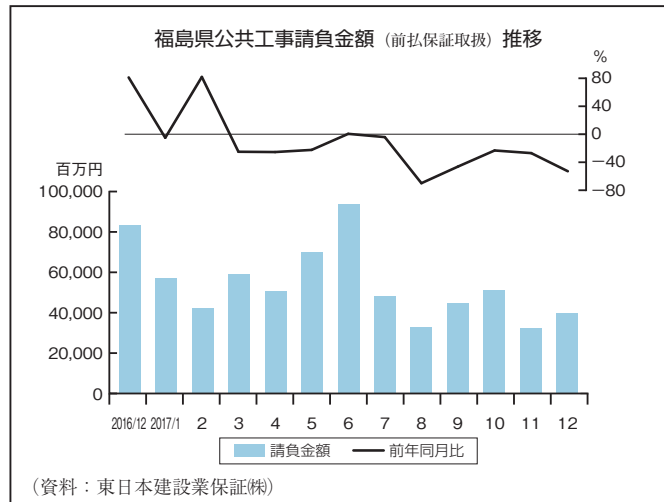
12月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）が101.0で前年同月比+0.7%、前月比+0.3%となった。費目別に前月比で見ると、「食料」の104.0（同+1.2%）など5費目で上昇し、下降したのは「被服及び履物」の100.4（同△4.1%）など4費目となった。



公共投資

公共工事：請負金額は6カ月連続で前年比減

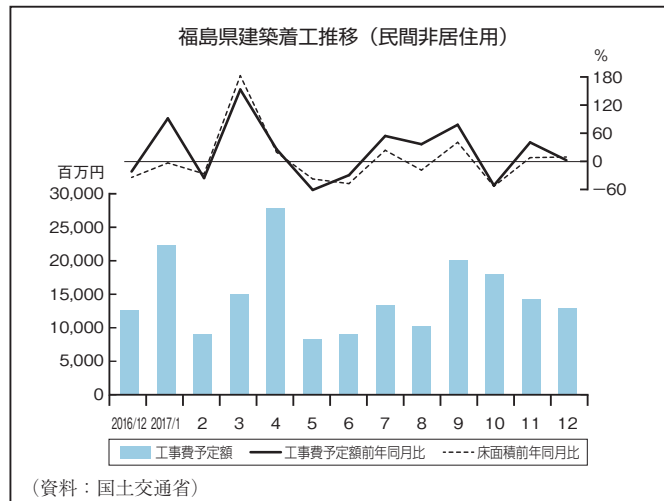
12月の公共工事前払保証取扱は、件数が530件（前年同月比△9.7%）で2カ月ぶり、請負金額が401億68百万円（同△52.0%）で6カ月連続、保証金額が188億60百万円（同△55.3%）で10カ月連続と、いずれも前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が2カ月連続で前年比増

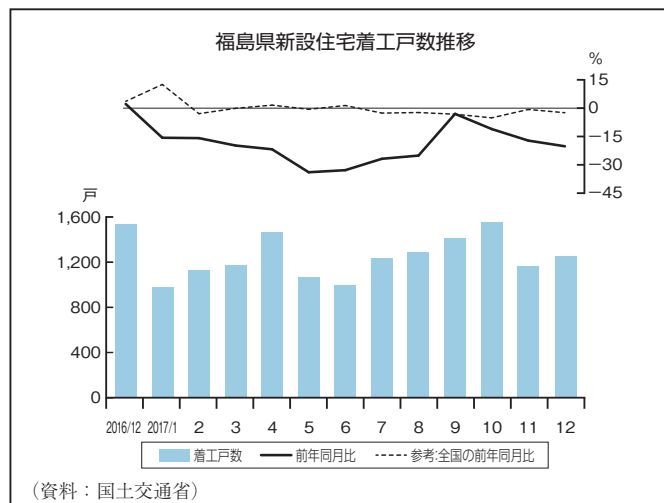
12月の建築着工（民間非居住用）は、棟数が196棟（前年同月比+34.2%）で3カ月連続、床面積が56,188㎡（同+9.2%）で2カ月連続、工事費予定額が129億16百万円（同+2.5%）で2カ月連続と、いずれも前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：着工戸数は12カ月連続で前年比減

12月の県内新設住宅着工戸数は、1,254戸（前年同月比△19.8%）と12カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は503戸（同△9.4%）で2カ月連続、「貸家」は469戸（同△42.5%）で12カ月連続、「分譲」は188戸（同△2.1%）で4カ月ぶり、いずれも前年を下回った。

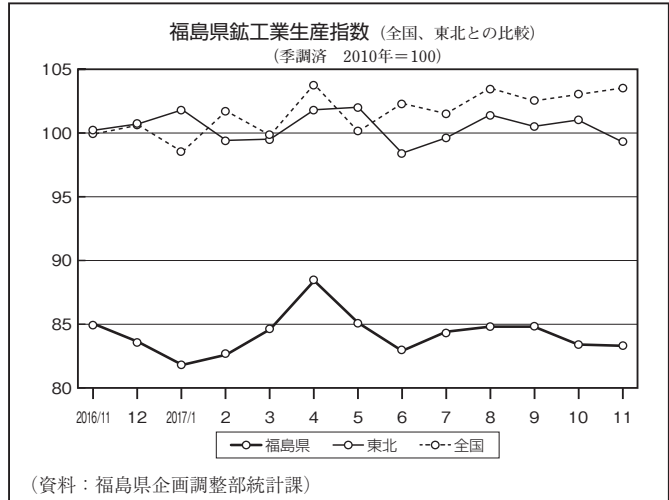


生産活動

※鉱工業生産指数は11月のデータ

鉱工業生産指数：前月比・前年比ともに低下

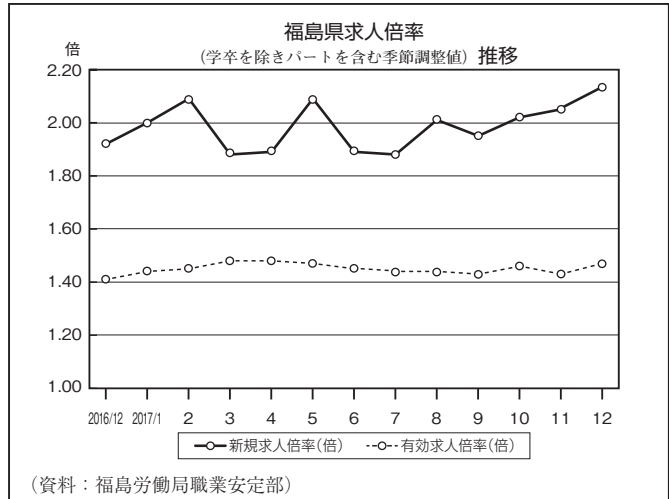
11月の鉱工業生産指数（季節調整値）は83.3で前月比△0.1%と2カ月連続で前月値を下回った。一方、原指数は84.9で前年比△2.1%と5カ月ぶりに前年値を下回った。業種別の季節調整値をみると、「電気機械工業」（前月比+7.2%）など11業種で上昇し、「プラスチック製品工業」（同△5.3%）など8業種で低下した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比上昇

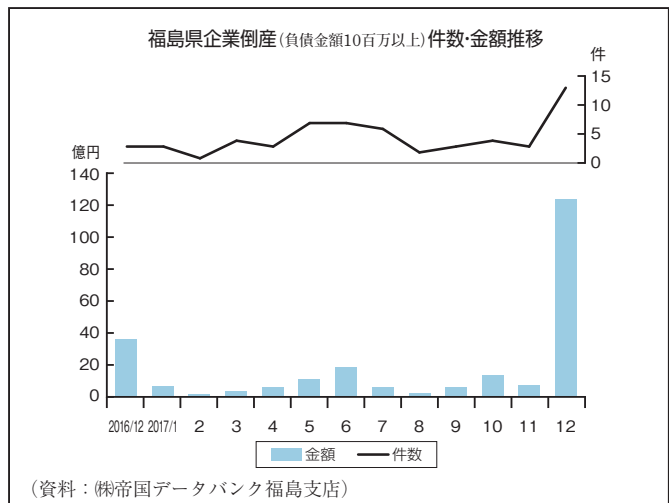
12月の新規求人倍率は、季節調整値が2.13倍（前月比+0.08ポイント）、原数値が2.37倍（前年同月比+0.22ポイント）となった。また、12月の有効求人倍率は、季節調整値が1.47倍（前月比+0.04ポイント）、原数値が1.63倍（前年同月比+0.07ポイント）となった。一方、12月の雇用保険受給者実人員は5,752人（前年同月比+2.3%）と8カ月連続で前年を上回った。



企業倒産

企業倒産：件数・金額ともに前年比大幅増

12月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、大型倒産の発生もあり、件数が13件（前年同月比+333.3%）、負債総額が123億67百万円（同+240.7%）と、件数・負債総額ともに前年を大きく上回った。業種別では、製造業、小売業が4件ずつ、卸売業3件、サービス業2件となった。

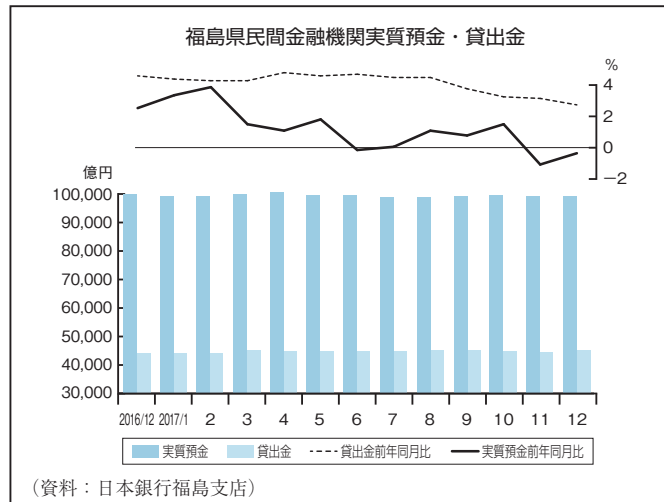


金融動向

資金需給：実質預金は前年比減

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の12月末の実質預金残高は、9兆9,740億円（前年同月比△0.4%）と2カ月連続で前年を下回った。一方、貸出金残高は、4兆5,175億円（同+2.6%）と4年7カ月連続で前年を上回った。

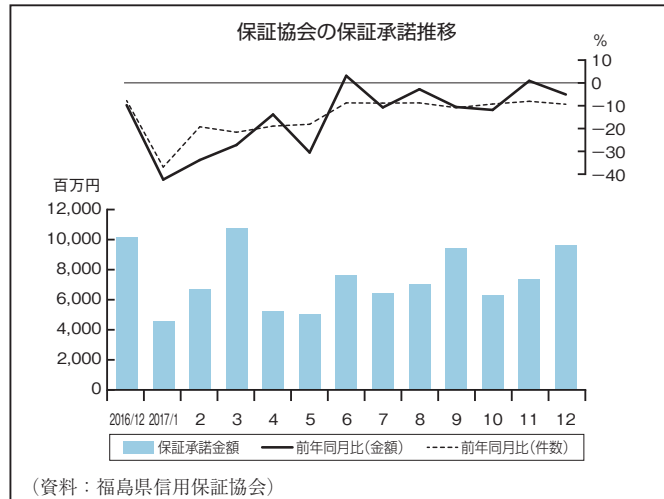
※実質預金は、総預金から手形・小切手を控除したものの。



保証協会：保証承諾は件数・金額ともに前年比減

12月の保証承諾は、件数が807件（前年同月比△9.4%）、保証金額が96億2,900万円（同△5.1%）となった。また、12月末日現在の保証債務残高は、件数34,369件（同△9.9%）、金額2,918億4,500万円（同△11.7%）となった。

一方、12月中の代位弁済は、件数が21件（同△65.0%）、金額が840万円（同△83.8%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

家電大型専門店 12月の家電大型専門店の売上高は、暖房器具やテレビ、パソコン、スマートフォンに加え、冷蔵庫、洗濯機などにも伸びがみられ、合計では前年をやや上回った。

ホームセンター 12月のホームセンターの売上高

は、家電製品や灯油販売などで前年を上回り、合計でも前年を5%ほど上回った。

高速道路 12月の県内自動車道出入台数は、合計で5,299,535台（前年同月比+0.4%）と、2カ月連続で前年を上回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）が2,659,509台（同+2.2%）、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）が393,954台（同+3.5%）でともに2カ月連続、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）が

535,951台（同+0.4%）で3カ月ぶりに、それぞれ前年を上回った。一方、常磐自動車道（いわき勿来IC～新地IC）は1,710,121台（同△3.0%）と4カ月連続で前年を下回った。

福島空港 12月の福島空港国内定期路線の利用状況は、17,050人（前年同月比△4.2%）で2カ月ぶりに前年を下回った。路線別にみると、札幌便は3,654人（同△7.3%）、大阪便は13,396人（同△3.3%）となった。

（国際定期路線は全便運休）

生産活動

※企業ヒアリング等による結果

化学 12月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けや家庭用製品の受注が引き続き安定し、前年をやや上回る生産水準を維持している。

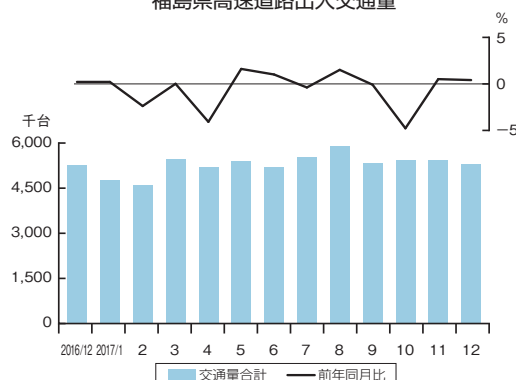
鉄鋼・金属 12月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が前年を3%ほど上回ったものの、半導体向け電子材が前年を20%ほど下回り、全体でも前年を5%ほど下回った。12月の建機用鋳造品の生産は、前年を7%ほど上回った。12月の鋳鋼品の生産は、船用部品が高付加価値製品を中心に前年を90%ほど上回った。また、車輛関連についても前年を20%ほど上回る生産となった。

輸送用機械 12月の自動車用鋳造品は、トラック用の受注が引き続き好調で、前年を20%ほど上回る生産となった。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、生産水準は前年を上回る状況が続いている。

電気機械 12月の電気機械の生産は、変圧器や誘導炉などが前年を上回り、合計では前年を10%ほど上回った。

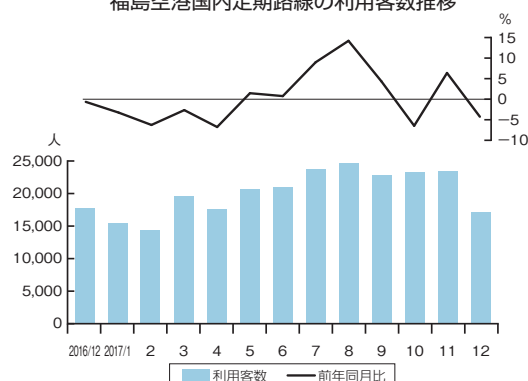
情報通信機械 12月の情報処理装置は、高水準であった前年との比較ではやや下回ったものの、受

福島県高速道路出入交通量



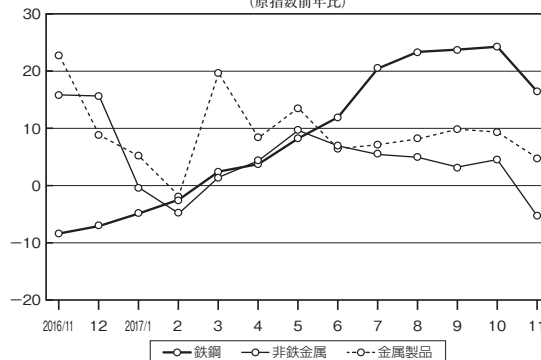
（資料：東日本高速道路㈱東北支社）

福島空港国内定期路線の利用客数推移



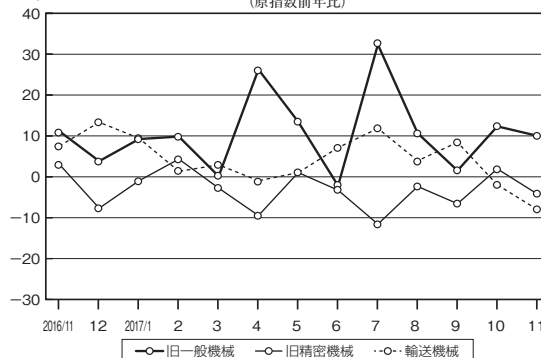
（資料：福島県商工労働部空港交流課）

福島県業種別鋳工業生産指数の推移（その1）
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計課）

福島県業種別鋳工業生産指数の推移（その2）
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計課）

注状況は安定している。

電子部品・デバイス 12月のLSI（大規模集積回路）の生産は、需要の低下が続いたことで前年を30%ほど下回った。

精密機械 12月の医療用内視鏡は、国内外ともに好調な受注を維持し、前年を20%ほど上回る生産水準となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内のほか北米やアジアなどからの受注が好調で、引き続きフル稼働の生産が続いている。

窯業・土石 12月の生コンクリート出荷量は、全体で151,805m³（前年同月比△7.6%）と2カ月ぶりに前年を下回った。地域別にみると、すべての地域で前年を下回り、特に会津地域は民需・官公需ともに前年を下回った。

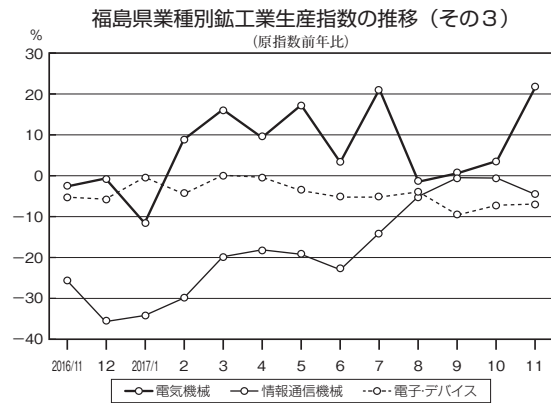
紙・紙加工品 12月の製紙の生産は、ノーカーボン紙の前年比減少傾向が続いているものの、感熱紙は輸出関連で需要が増加しており、全体では前年を10%ほど上回った。

清酒 12月の清酒移出数量は、2,112kL（前年同月比△2.9%）と3カ月ぶりに前年を下回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が937kL（同△8.4%）と7カ月連続で前年を下回ったものの、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が1,175kL（同+2.0%）と5カ月連続で前年を上回った。

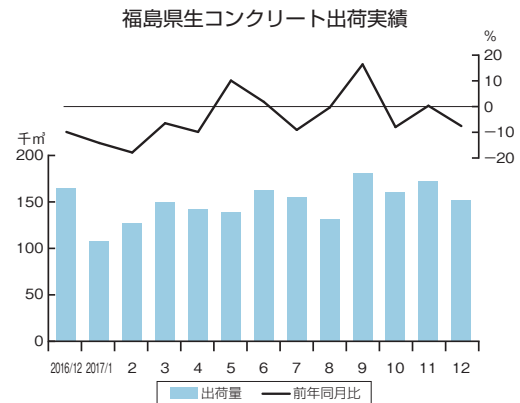
化合繊維物 12月の化合繊維物は、生産額が前年を25%ほど上回り、好調な生産が続いている。

ニット 12月のニットは、冬物・春物製品の生産が順調で、生産額は前年を40%ほど上回った。

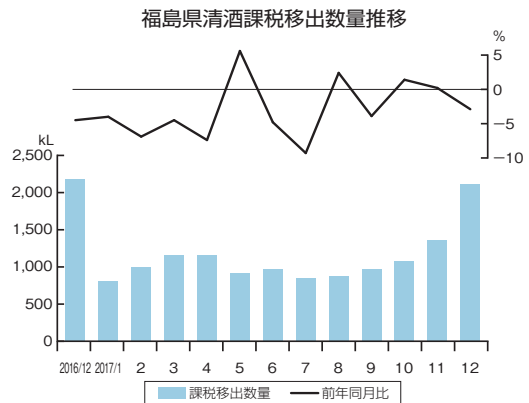
電灯電力 12月の電灯電力販売量は、1,187百万kWh（前年同月比△1.3%）となり、8カ月連続で前年を下回った。



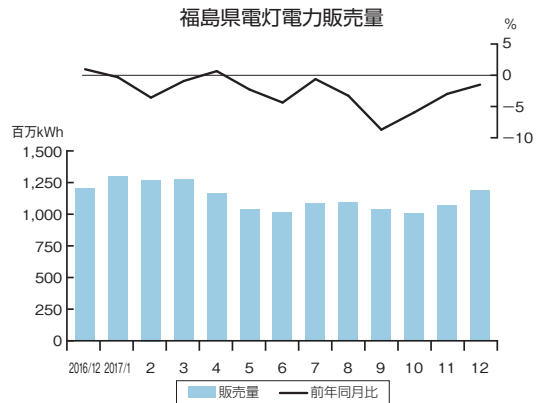
（資料：福島県企画調整部統計課）



（資料：福島県生コンクリート工業組合）



（資料：福島県酒造組合）



（資料：東北電力(株)福島支店）